



かぼちゃっこ

令和3年
7月16日
No.7

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」

地域学校協働活動スタート！！

～ 地域と学校が願いを共有して子供を育てる ～

地域と学校が協働で子供たちを育てる仕組みの一つが学校運営協議会。導入し4年目を迎え、保護者や学区民、町民の皆様方のご理解とご協力のお陰で毎年度順調に進み成果を上げています。

そして、もう一つの柱である「宮宿小学校 地域学校協働本部」を、6月30日（水）に新たに立ち上げました。同日、早速、本校と関わりのある各団体や組織の代表の方々にご来校いただき、趣旨説明のほか、情報交換・意見交換をさせていただきました。

これまで本校で実施してきた保護者や地域の皆様方と連携した様々な教育活動を、再整理し大きな組織として見直すことが第一歩。そして、少しずつ趣旨を多くの方々に広げ理解いただき、息の長い活動にしていくことが大切だと考えています。

今後、「どんな子供たちに育てたいか。」「地域や学校がそれぞれ抱えている課題は何か。」など、保護者や学区民、町民の皆様方と情報交換・意見交換し、実りある活動にしていきたいと思います。

なお、裏面に本部のイメージ図を掲載しましたので、ご覧いただければ幸いです。お聞きになったことがあれば、いつでも校長までご連絡ください。（67-2306）



県教育委員会より、地域学校協働活動の意義とメリットについて講話をいただきました。

出席者より、各団体や組織の活動状況をご紹介いただきました。



あいさつの大切さは、誰が教えるの？

～ 保護者の皆様、ありがとうございました ～

保護者の皆様方に各地区通学班の集合場所でのあいさつの様子等を見守っていただき、感想を寄せていただきました。子供たちのがんばりや課題等をたくさん教えていただきました。

考えたいことは、「あいさつの大切さは、誰が教えるのか。」ということです。家庭、学校、地域…どこかが限定で教えるものではなく、その時その時関わった大人がそれぞれの立場で教えていくものだと思います。「自ら子供にあいさつをしていきたい。」そんな素敵なお感想もいただきました。まずは、大人が良い手本を示し、背中であいさつの大切さを理解させていきたいものです。



計画委員会による「あいさつ運動」